

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス クローバー		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 日25		2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの希望を反映したプログラム作成 ※日々の活動が、固定化しないように、工夫されたプログラムを実施している の項目が高い。	日々の支援の中で聞いた子どものプログラムへの希望を週一回の会議で共有して、毎月のプログラムに反映することができている。日々の定番プログラムでも偏りがないように、行きたい公園をヒアリングして決めたり、買い物先を子どもたち同士で相談する等、飽きがこないように工夫している。	保護者の希望も反映できるようにプログラムに対する希望をヒアリングする独自アンケートを作成し、配布予定。子ども、保護者からの希望を丁寧に伺い、新しい体験や経験ができるような新しいプログラムを試行錯誤していきます。
2	・日々の支援の満足度が高く、楽しく来所できている。 ※支援に満足し、子どもは通所を楽しみにしている の項目が高い。	『子どもの主体性を引き出す』ことを事業所として、大切に支援しており、子どもの意思表示や意思決定、自発的な行動が増えてきている点が、子どもたちの納得感や満足感を向上させている要因の一つと考えています。日々の子どもたちの様子の記録を丁寧に残し、週一回の会議でいいところ、課題点をメンバー間で共有できているところも強みと思います。	事業所内でチームの目標をメンバー全員で考えるワークを実施する予定。主体性を大切にする点は継続して、追加で助け合いの心を育むことを意識して子ども達と関わっていきたくと考えています。まずは、メンバー全員でチームの目標を作成することで、認識統一を行い、一貫性を持った支援でより子どもたちの満足度を高められるようにしていきたい。
3	・個別支援計画への納得感が高い ※個別支援計画の作成において、課題やニーズを客観的に分析したうえで、子どもの支援に必要な項目が適切に選択されている の項目が高い。	月一回、個別支援計画原案会議を行い、全職員で子供たちの日々の様子や強み、課題を共有、協議して、児童発達管理責任者が個別支援計画を行っている。毎日、子供の様子を記録をしているサービス提供記録には、個別支援の目標を明示し、意識して支援できるように工夫している。タイムリーに子供たちの変化を職員間で情報共有できていることも強みと思います。	現状の取り組みを継続すること、個別支援計画作成のためのモニタリング時、子どもごとに担当をつけて児童発達管理責任者との連携を強化することを検討していきたい。担当をつけてモニタリング時の一貫性の高い情報を基にすることで、より効果的、納得感の高い個別支援計画を作成していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・障がいのない子どもと活動する等、地域交流のイベントが少ない。 ※認定子ども園などの交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある の項目が低い。	大学の文化際に行ったり、地域のスポーツイベントに参加するなど、少しずつ、地域交流のイベントは増やしているが、保護者様からの満足感に繋がるまでには至っていない。	地域交流における子どもたちへのメリットを再度メンバーへ周知して、地域交流のイベントについての情報収集予定。週一回の会議にて、プログラム案検討の時間を設けて、定期的に職員から情報整理を行い、反映していく。系列事業所での地域交流イベントとコラボすることを検討していく。
2	・家族支援、保護者同士の連携の機会の充実 ※保護者に対して、面談や育児に関する助言等の家族支援が行われている。また、父母の会の活動の支援や保護者同士の連携が支援されている の項目が低い。	日々のご自宅への送迎時、保護者様と子どもの様子をお話する時間を活用して、ご自宅での様子やお困りごと、悩みごとなどがあれば、相談をさせて頂いている状況。受け身にならないように、こちらからのアプローチも増やしていくことが必要と感じている。	まずは、送迎スタッフの保護者様とのコミュニケーションを強化していきたい。より、相談しやすい環境を意識し、保護者様からの意見をヒアリングしやすいようにしていく。半年に一回、個別支援計画作成のアセスメントを取得する際に悩まれていることがないかをチェックして、必要に応じて、事業所での対面での相談なども検討していきたい。
3	・日々の活動の様子をより保護者様へお伝えすること ※個人情報の取り扱いに留意した上で、日々の様子をホームページに掲載して、活動の様子が分かるように工夫されている の項目が低い。	月一回以上のブログ掲載、日々のご自宅への送迎時でのコミュニケーションで活動の様子をお伝えしている。個人情報の取り扱いについては、契約時、重要事項説明書、個人情報に関する同意書に明記し、一人一人に説明、同意を得ている。長期間利用されている子ども保護者様などへのご案内も見直して、日々の活動の様子の周知方法を検討していく必要がある。	月一回以上のブログの継続、送迎スタッフの保護者様とのコミュニケーションを強化していきたい。必要に応じて、保護者様参加型のプログラムや見学のできるプログラムなども検討していきたい。